

平成30年度淀川区区政会議 第2回安全・安心なまち部会 議事要旨

日時：平成31年2月4日（月）18:30～20:20

場所：淀川区役所 5階 503会議室

出席者：

- ・委員7名（8名中）
泉委員（議長）、一丸委員（副議長）、久保委員、光在委員、福岡委員、
増田委員、米山委員
（欠席：新井委員）
- ・区役所
久保政策企画課長、新井市民協働課長、鳶岡保健福祉課長、
松田市民協働課相談調整担当課長代理 外

内容：

1. 開会
2. 事務局あいさつ
3. 議題
 - (1) 区政会議の運営について
 - (2) 2019年度運営方針素案からの修正について

資料：

次第、部会名簿、座席表

- ・資料1 区政会議に関するアンケート結果
- ・資料2 淀川区区政会議の運営について
- ・資料3 2019年度運営方針に関する意見への対応方針
- ・資料4 2019年度運営方針素案からの修正一覧
- ・資料5 2019年度運営方針（案）（概要版）
- ・資料6 2019年度運営方針（案）様式2
- ・資料7 淀川区2019年度（平成31年度）区長自由経費予算
要求額一覧
- ・資料8 区政会議における2019年度運営方針に関する意見への対応方針
（防災・防犯）（学校教育支援）
- ・資料9 事前質問
- ・その他 「よどマガ！2月号」、「YODO-REPO 47号」、ご意見票

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議題

(1) 2019 年度運営方針素案からの修正について

○資料4について説明

(新井市民協働課長) (鳶岡保健福祉課長)

質疑応答・意見交換

- ・ 淀川区 2019 年度運営方針（案）の「具体的取組 1－1－1 自助の取組」について、重点的取組のイベントはどんな内容か教えてください。(増田委員)

⇒淀川区役所において、体験型の防災アトラクションを開催する予定です。自然災害が多発している中、生死の分かれ目となる瞬間に瞬時の判断で被害に遭わないための行動ができるかを体験するものになります。次世代型の災害への実践的な予行演習となり、若手の自発参加や近所・共助の強化を目的に企画をしております。秋以降に各地域で開催される防災訓練への新規参加も促す事ができるように夏休みの開催を考えております。(新井市民協働課長)

- ・ 若い人が行ってみたいと思うイベントでとてもいいと思います。区役所でやってみて、上手くいったら新大阪駅等で開催できたら、より臨場感があっていいと思います。(増田委員)

- ・ 小学校、中学校にパンフレットを配り周知したら効果的かもしれない。(福岡委員)

⇒実施時期になりましたら、全戸配布の「よどマガ」で周知しようと思います。(新井市民協働課長)

- ・ 若者がどうして防災に興味がないのかを若者に聞けるような場所や時間があるといいと思っていたのですが、このイベントはいい機会だと思います。イベントに来る人は防災に興味のある人かもしれないので、その人たちに区の防災について話し合うようなチームを作りませんか、区の防災にかかわりませんかというお誘いの仕方は効果があると思います。(増田委員)

- ・ 淀川区 2019 年度運営方針（案）の「具体的取組 1－1－2 共助の取組」について、重点的取組の各地域の避難所開設時の課題の集約、共有について具体的な事があれば教えてください。私は、災害リスクを地域の中で見直しましたが、地域カルテの中に高層住宅がどのぐらいのパーセントであるか等のデータがあったので、災害リスクと今の地域の状態を見直して、何が必要かを確認してからでないと思効果的ではないと思いました。（増田委員）

⇒「避難所開設時の課題の集約、共有について」は、地域活動協議会でどのような情報共有を行ったかについて、合同意見交換会を開催し「まちセン通信」にも掲載し周知しております。地域カルテは、地域の強み、弱みを書き出して頂いた資料があり、社協にも同じような地域診断のようなデータがあるのでこの2つを合体させたものを地域カルテにするための作業を行っています。3月7日の地域フォーラムで、各地域の地域カルテをお渡ししたいと思います。（新井市民協働課長）

- ・ 今年度開催した合同意見交換会がベースになって、来年度また共有していく等の具体案はありますか。（増田委員）

⇒2年前に防災をテーマにブロック会議を開催した事がありますが、もし必要であれば、今年度の意見交換会の意見を踏まえて、日頃から防災に携わっておられる実務担当者に参加頂きブロック会議を開催し共有することはできると思います。（新井市民協働課長）

- ・ 災害発生時の支援物資が町内会に加入していない住民に対して配給されるのか教えてください。（久保委員）

⇒避難所となっている小学校の備蓄倉庫に置いてある物資は避難所に避難された方にお渡ししますが、数に限度がありますので、自主避難される場合は、ある程度のお水や食料、お薬は持参して頂くようお願いしています。この避難所に置いている物資とは別に連合振興町会が自分達でお金を出してアルファ化米やビスケットの缶を購入されましたが、これは各防災訓練で配布している地域やいざという時のために自分達の倉庫で保管されている地域もございます。（新井市民協働課長）

- ・ 私の地域では、町会の費用で購入した備蓄物資があり、防災リーダーが管理をしています。区役所からの支給物資と町会で購入した物資の使い分けがわか

らなくなっており、防災リーダーによって考え方が違ってきています。物資の使い分けについて、備蓄倉庫や関係者の家にかけておけるようなものを作っ
てほしい。防災リーダーが集まる会議で、指導してもらいたい。(一丸委員)

⇒区役所が管理している備蓄物資は一覧表にしており、お渡しする事ができま
す。また、賞味期限を1年切ったものであれば、地域の防災訓練等に活用して
も構わないという大阪市の一定のルールがございますが、地域が独自に購入
されたものに関しては、区役所から指示できませんので、地域のご判断になり
ます。防災の隊長会議で、防災リーダーにも改めて周知致します。(新井市民
協働課長)

避難所に避難される場合に、台風等事前に来ることがわかるような場合は、最
低限の食料、水はお持ち頂くように常日頃からお願いをしているところですが、
実際、高齢者が持ってきておられない場合でしたら、臨機応変に対応すべ
きだと思います。担当者には、臨機応変に対応するように指示をしたいと思
います。(松田市民協働課相談調整担当課長代理)

- ・大阪市の避難所のガイドラインが更新され、それまでの連合ではなく、地活協
が避難所の運営にかかわると記載してありました。私の町会はマンションな
んですが、以前町会で備蓄をしていましたが、管理組合に改めてもらいました。
マンションの中で町会に加入している人、加入していない人がいてる中で、町
会で備蓄を購入するのはよくないという事で管理組合に関わってくださいと
お伝えしたところ了解してもらい、今後は町会と管理組合が一緒に自主防災組
織を運営するという事になりました。(増田委員)
- ・避難所開設した小学校の表示と英語表記が隣接した小学校で違っていました。
(泉議長)
- ・淀川区2019年度運営方針(案)の「具体的取組1-3-1地域における見守
り支援体制の構築」について、2013年から始まった事業の地域要援護者名
簿の取扱いについて、先日の増田委員の質問に対する区役所の回答をみて理解
できました。現在、要援護者名簿は各町会長が持っていますが、町会長は避難
所開設についても担わないといけないので、要援護者への対応は、別のスタッ
フが手分けして確認するのも一つの方法だと思います。また、地域の防災訓練
の際に、要援護者の安否確認の訓練を入れてもいいのではないかと思います。
(米山委員)

⇒ 2013年度手上げ方式により事業を開始し、2014年度からは行政名簿をもとにした同意方式により、名簿の作成や更新を行っています。ただ、行政名簿に載っていない方でも支援が必要であれば、地域の名簿に載せることができますので、見守り相談室までご相談ください。（鳶岡保健福祉課長）

- 私の地域でもワークショップを開催して、行政名簿に載っていない弱者の方が地域の中におられないか情報交換し、名簿に追加しています。（福岡委員）
- 私の地域では、要援護者に対して、区社協に依頼し作成した要援護者のシールを毎年渡して、家の中のわかる場所に貼よう伝えています。（泉議長）

(2) 区政会議の運営について

意見交換

- ・部会の方が意見がいいやすい。ロの字型は、区役所の偉い人も座っていて緊張する。
 - ・委員だけがロで座ればもっと小さなロになって話しやすくなるのではないか。
 - ・全体会議・部会で、意見を言いたい人は言っているのでもいいと思う。グループ討議も一回試しにやってみてもいい。全体会議は、威圧感がある。
 - ・資料の概要版がすごくわかりやすいので、説明会はいらないと思う。区役所が読むだけの説明は不要。区政会議委員であれば、資料を事前に読んでくるのは、当然だ。しかし、部会を廃止して資料の全部の範囲を読むのは無理なので、部会の廃止には反対だ。事前配付してもらった資料と当日の資料が違っているのは、困る。事前配付の資料にメモしている事が言えなくなってしまう。
 - ・部会があった方がいい。部会でも、グループに分かれて、とことん部会で防災、防犯、福祉について話をした後に、共有した方が密度が濃くなるのではないか。
 - ・プロジェクターの使用が良かった。部会は意見が言いにくいとは思わない。現状でいいと思う。
 - ・部会は、議事録を取っている現状でも活発に意見交換が行われていると思う。議事録を取っているから意見が言えないのではなく、別の理由があるはずだ。
 - ・全体会議は、人数が多いので部会に比べて発言がしにくいのでしょう。
 - ・会議は年4回と聞いて区政会議に参加したが、実際は年8回ぐらい開催されており、資料もファイル5冊分ぐらいの量がある。地域では、8割以上が仕事をしており資料を読み込む時間がない。
- 3月の全体会議の配席について
- ・5名：グループごとがいい。一度、試しにやってみるのがいい。
 - ・1名：現状維持がいい。